NIHON UNIVERSITY DIVERSITY

令和6年度
工学部ダイバーシティ推進報告



「ロハス工学」を強みに代えて
SDGs から始める
工学部ダイバーシティ推進計画

ダイバーシティとは、「多様な人材を活かす戦略」のことです。文部科学省の HP には次のように定義されております。

― 従来の企業内や社会におけるスタンダードにとらわれず、多様な属性（性別、年齢、国籍など）や価値・発想をとり入れることで、ビジネス環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、企業の成長と個人のしあわせにつなげようとする戦略。―

≪ダイバーシティ推進委員会≫

第1回委員会（5/13）＜委嘱・今後の見通し＞
第2回委員会（9/19）＜行動計画書作成＞
- 学内アンケート（7月）＜課題の洗い出し＞
- 推進状況確認（11 月）
- 推進報告書作成（3 月）＜成果と課題＞

教職員 学生

学生が満足する大学生活のために
教職員が輝く職場になるために
大学の成長と一人一人のしあわせのために



【ロハスの森「ホール」】

◆R6年度行動計画報告 ※()の数字は SDGsに対応

(1)だれでもトイレ(10)
(2)女子更衣室の設置(5)
(3)女子トイレの生理用品の設置(1)(3)(5)
(4)女子職員の制服廃止(5)(10)
(5)JA 福島県産米無料配布(1)(3)
(6)障がい学生支援への対応(4)(10)

本部ダイバーシティ推進委員会では、ロゴマークの選定、ベビーシッター利用補助制度設立、女性教員のためのネットワーク・ミーティング開催，研修会情報を共有する等，月一回（書面及びオンラインで）委員会を開催してダイバーシティに係る理解の促進及び推進に資する会議を行っております。

◆これまでの取組例

工学部では、女子学生の声をもとに女子更衣室の環境整備及び女子トイレに生理用品を設置することによる無料配布等、トイレ環境について取り組み、学生とともに考えるダイバーシティを目指して、今後の教育活動のさらなる充実を目指しております。



【1号館2F 女子更衣室】



【ｻﾆﾀﾘｰ Box 本館1F 女子トイレ】



【OiTr 女子トイレ6台設置】



【ｻﾆﾀﾘｰ Box 70 号館1F 女子トイレ】

教職課程（「まなカフェ」教育について考える会）では、福島県立安積黎明高等学校長 黒川佳子氏を講師にお迎えして「学校におけるダイバーシティ」の演題でご講演いただき、履修者10名と国際理解教育の視点から学びを深めることにつながりました。



【黒川佳子氏】



【55号館5F 大学院講義室】